

花王 モルトンブラウン、マレーシアに本格進出 クアラルンプール「TRX」に 旗艦店をオープン

花王は、英国のラグジュアリーフレグランスブランド「MOLTON BROWN(モルトンブラウン)」を、マレーシアに本格進出させ、2023年12月22日、クアラルンプールの国際金融地区「TRX(Tun Razak Exchange)」のショッピングモール「The Exchange TRX Mall」内に、旗艦店をオープンした。

今後は、マレーシア国内でのECサイトのオー「Curie」をグローバル強化のフェーズに進め、高級ホテルでのアメニティ事業をさらに加速させるなど、多様な事業の展開を推進しているが、「MOLTON BROWN」は2024年、マレーシアを皮切りに、シンガポール、タイ、香港において「MOLTON BROWN」を展開し、インドネシア・マカオにも初進出するなど、アジアエリアでの事業を強化し、さらなるグローバル化を目指す。

「MOLTON BROWN」は、近隣の運送業者に配達を依頼して崩れたのであれば見向きもされないだろう。ケーキ店が依頼主に詫言を入れ、代金を返済する以上、溶けていること

記者の窓

昨年末、高島屋のオンラインショップで販売した冷凍クリスマスケーキの多くが崩れた状態で配送された。「クリスマスを台無しにされた」「百貨店だから安心して注文したのに、信じられない」等々、配送業者のヤマト運輸とともに、テレビのワイドショーで処刑された。街のケーキ

店が、近隣の運送業者に配達を依頼して崩れたのであれば見向きもされないだろう。ケーキ店が依頼主に詫言を入れ、代金を返済する以上、溶けていること

デジタル化に

適さないものの価値

いまの状況は分らないが、東南アジアは低温物流が未整備でアイスクリームを購入して蓋を開けると、半分以上、溶けていること。大半の物流は効率化が図られた。ただ、アイスクリームのようにデジタル化によって大量に運ばれずとすると品質に支障が出てくるものがある。デジタル化に適さないものの価値を重視することも必要だ。(F)

ルを構築している。今後はこの「MOLTON BROWN VILLAGE」をアジア各地で展開し、「MOLTON BROWN」のグローバルでの存在感をさらに高めていく。

店舗概要/店舗名: MOLTON BROWN The Exchange



ge TRX Mall 所在地: Persiaran TRX, Tun Razak Exchange, 55188 Kuala Lumpur, Wilayah Persekutuan Kuala Lumpur 営業時間: 10時~22時 店舗面積: 68.2sqm

アルビオン

シヤクヤク新品種の根を生薬原料として出荷・販売

アルビオンは、2018年から秋田県・白神研究所にてシヤクヤクの新品種「夢彩花」の有機栽培に取り組み、このほど、その根を生薬原料として出荷・販売することに成功した。新品種の根が生薬原料として利用されるのは、今回が初めてとなる。今後は、根を規模の拡大を進めていく。

同社は、2018年〜2022年の5年間で行われた日本医療研究開発機構(AMED)の委託研究である「薬用植物の国産化・品質向上に向けた栽培技術の開発」に参加している国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センターで

「夢彩花」は、同研究にも参加している国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センターで

同社は化粧品原料として「夢彩花」の花に着目し、そこから機能性エキスを開発。2023年5月に「夢彩花エキス」を配合した化粧品「アルビオン エクラフチュール」を発売する一方で、生薬原料となる根の収穫を目指して栽培を続けてきた。通常シヤクヤクの根が収穫できるまでには元となる株を植えてから5年前後の年月がかかる。今回、栽培開始6年目で根を生薬原料として出荷、販売することに成功した。



多くのシヤクヤクは、根の収穫量も従来品種に比べて多いという特性がある。